

小論文課題

以下の問いに答えよ。

問. 下記の文章を読んで、あなたは「哲人」の『自由とは、他者から嫌われることである』との言葉をどう考えるか。また、あなたが対人関係で大切にしたいと思っていることについて、あなたの考えを 800 字以内で述べなさい。

『ほんとうの自由とは何か』

哲人 あなたは先ほど「誰からも嫌われたくない」ことを認め、「わざわざ嫌われたいと願う人間など、どこにもいない」といいました。

青年 ええ。

哲人 わたしだってそうです。他者に嫌われることなど望んでいない。

「わざわざ嫌われたいと願う人間などいない」とは、鋭い洞察といえるでしょう。

青年 普通的欲求です！

哲人 とはいえ、われわれの努力とは関係なく、わたしのことを嫌う人もいれば、あなたのことを嫌う人もいます。これもまた事実です。あなたは誰かから嫌われたとき、または嫌われているのではないかと感じたとき、どのような気分になりますか？

青年 そりゃあ、苦しみのひと言ですよ。なぜ嫌われてしまったのか、自分の言動のどこがいけなかったのか、もつとこういう接し方をすればよかったんじゃないのかと、いつまでもくよくよと思い悩み、自責の念に駆られます。

（―中略―）

哲人 何度くり返してきたように、アドラー心理学では「すべての悩みは、対人関係の悩みである」と考えます。つまりわれわれは、対人関係から解放されることを求め、対人関係からの自由を求めている。しかし、宇宙にただひとりで生きることなど、絶対にできない。ここまで考えれば、「自由とはなにか？」の結論は見えたも同然でしょう。

青年 なんですか？

哲人 すなわち、「自由とは、他者から嫌われることである」と。

青年 な、なんですって？

哲人 あなたが誰かに嫌われているということ。それはあなたが自由を行使し、自由に生きている誰であり、自らの方針に従って生きていることのしるしなのです。

（出典：岸見一郎・古賀史健著、「嫌われる勇気」自己啓発の原流「アドラーの教え」ダイヤモンド社より）

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

（この課題用紙は、試験終了時に回収します）